

令和 7 年度 第 1 回学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和 7 年 5 月 9 日（金）14 時 10 分から 15 時 40 分まで
- 2 開催場所 和田小学校 視聴覚室
- 3 出席委員 安藤 小ゆり、太田 優子、齋藤 拓雄、鈴木 剛司、鈴木 三雄
早川 智美、林 實
- 4 欠席委員 神谷 みち子
- 5 オブザーバー 堀内 信広（天竜協働センター長）
- 6 学校 横井 靖二（校長）、米山 由紀子（教頭）、中西 伸（主幹教諭）
小粥 万祐子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 山本 美世絵（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 小粥 万祐子
- 10 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木剛司委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された鈴木委員から、安藤委員を副会長に指名する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、安藤委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- (1)授業についての意見交換
- (2)和田小学校運営基本方針について
- (3)夢育やらまいか事業に対する意見書について

13 会議記録

司会の米山教頭より、委員総数 8 人のうち 7 人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1)授業についての意見交換

会議前に授業参観を行い、それについての意見交換をした。

- ・ 6 年生の国語で、春の季語の七草を使った短歌作りをしていた。活気がありいい授業だった。（林委員）
- ・ 6 年生の社会の政治の仕組みで、学級委員の選挙をしていた。机の並びも国会のように扇状に並べ、立候補者の公約の発表、その後、質疑・応答と活気があった。立候補者も多く、積的で活発だった。（林委員・早川委員）
- ・ 5 年生の音楽で、子供たちの表情が非常に良く、歌もとても上手だった。先生の説明もとても分かり易かった。先生の思いが伝わってきた。（林委員・鈴木委員・齋藤委員・太田委員）
- ・ 英語の授業のヒアリングが以前より進んでいると感じた。（早川委員）

- ・机・椅子のレイアウトが、各クラス工夫していて、先生の配慮が感じられた。児童同士顔を合わせ、話し合いもしやすく、今後もっと求められる、コミュニケーション能力を高めるにもいいと感じた。(鈴木委員・太田委員)
- ・1年生のクラスは、まだ幼稚園の延長という感じではあったが、子供たちの笑顔は非常に素敵で安心した。(鈴木委員・齋藤委員・太田委員)
- ・5年生の国語の漢字の成り立ちの授業が、思わず拍手をしたぐらい、とても素晴らしかった。心に響く授業と感じた。(齋藤委員・太田委員)
- ・外国の子もいるので、どのくらい溶け込んでいるか気にして見ていたが、和田小に通っていれば、日本語も伸びると感じ安心した。(齋藤委員)
- ・5年生が4年生のときに学習ボランティアで入ったときより、落ち着いて授業を受けていて成長を感じた。(太田委員)
- ・1年生の給食ボランティアに参加して3年目になるが、今年は1番元気がいいと感じた。(安藤委員)

(2)学校経営構想の詳細について

校長から令和7年度学校経営構想について説明があり、保護者向けに撮影された説明動画を視聴した。その後、各部担当教諭から詳細の説明があった。

(3)夢育やらまいか事業に対する意見書について

司会の教頭から、夢育やらまいか事業の説明と、今年度予算書の説明があり、全員異議なくこれを承認した。

14 その他

◎ボランティアについて

人気があり保護者の方が集まるものと、人数が少なく地域の方をお願いしているものの差が大きく、もう少し保護者の方に参加してもらえようような伝え方をしていきたい。

(太田委員)

◎学校運営自己評価について

教頭より、学校運営自己評価についての説明があった。令和7年度学校運営協議会の目標は、令和6年度の自己評価をもとに、「児童の安全や居場所づくり、地域の魅力を生かした授業づくりなど、学校の課題に新たな提案ができるよう、地域の各組織や学校職員との連携をさらに深める。」とした。

◎その他報告事項等

次回の学校運営協議会は令和7年9月16日(火)に開催するとの報告があった。